

腫瘍(全身麻酔)で手術を受けられる患者様へ(入院診療計画書)

形-8.09-1

氏名 _____ 様

病名 腫瘍

年 月 日

日時	月 日	手術当日 月 日		月 日	月 日
経過	入院から手術日前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目以降～
目標	・手術の必要性が理解できる。		・痛みが強いときに看護師へ伝えることができる。 ・医師の指示(創部圧迫禁)や安静度を守り、安全に入院生活を送ることができる。 ・異常が早期に発見され対処される。	退院基準	・手術した部位の異常がない。 ・退院後の留意点分かる。 ・鎮痛剤の使用により痛みが和らいでいる。
食事	・月 日 時から食事(あめ・ガム・ジュース等も含む)ができません。水・お茶以外は口にしないでください。	・月 日 時から水・お茶も飲めません。	・許可が出るまで食べたり飲んだりできません。 ・お腹の動きが確認できてから、食事が再開となります。		
安静活動		・歩いて又はストレッチャーで手術室へ行きます。手術室へ行く前にトイレをすませて下さい。 ・臨時手術等により手術時刻が変更になることがあります。	・麻酔が覚めたら歩くことができます。 ・手術後、初めての歩行は看護師が付き添いますのでナースコールで呼んで下さい。 ・活動の制限は手術した部位の応じて変わります。医師に確認後、説明します。		
清潔	・手術前シャワー浴ができます。				・シャワーは医師の許可が出てからになります。 
お薬			・手術後、抗生物質の点滴をします。痛みが強いときは、スタッフに申し出て下さい。痛み止めを使用できます。 		
処置			・創部の中に溜まった血液を出す管が入ってくる場合があります。 ・出血量に応じて1～3日で抜去します。	・医師の回診があります。	
説明	・入院生活と手術について説明を行います。 ・医師から麻酔の説明があります。	・手術室に向かう時は、入れ歯・指輪・カッタ・時計・コンタクトレンズ等全てはずしていただきます。髪の毛の長い方は、束ねてもらいます。ヘアゴムを持参して下さい。	・創部は圧迫せず安静にして下さい。		・傷の状態や安静のため入院期間が長くなる場合があります。
備考	・特別な栄養管理の必要性 有(無) ☆病状によっては、特別な栄養管理をする場合があります。 ・40歳以上の方は、別紙「総合機能評価表」を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。				

*状態に応じて予定が変更となる場合があります。

主治医 _____ 印

主治医署名 _____
※主治医の押印がある場合は不要

退院療養計画書	
退院日(予定)	
月 日	
退院後の治療計画	
・形成外科外来へ通院していただきます。	
退院後の療養上の留意点	
・医師の指示に従って創部の処置を行って下さい。 ・創部は圧迫したり、強くこすらないよう注意して下さい。	
保険医療サービス又は福祉サービス	
・特にありません。	
その他	

主治医以外の担当者
 看護師 _____
 薬剤師 _____
 栄養士 _____

旭川赤十字病院 7階みなみ入院フロア